

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月8日
【四半期会計期間】	第73期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	株式会社サンテック
【英訳名】	Sanyo Engineering & Construction Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 八幡 欣也
【本店の所在の場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社サンテック広島支社 （広島市中区大手町五丁目3番18号） 株式会社サンテック大阪支社 （大阪市北区中津一丁目7番8号） （注） 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所では ありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としておりま す。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第1四半期 連結累計期間	第73期 第1四半期 連結累計期間	第72期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	8,815,932	9,866,057	45,051,208
経常利益 (千円)	31,014	96,155	1,170,852
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	1,783	32,534	683,608
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	5,527	52,899	360,963
純資産額 (千円)	30,137,853	29,613,405	29,974,472
総資産額 (千円)	43,884,860	44,475,193	46,541,177
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	0.10	1.89	39.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.6	66.5	64.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループは、第12次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）に基づき、「信頼と企業ブランドの確立（Next Stage）を目指し、選ばれる会社への挑戦」に向けて、お客さま等のニーズに応え受注拡大に繋げる営業力の強化、品質・安全の確保と生産性向上による施工力強化と利益の確保、企業の礎と将来を担う人財の確保と育成、ガバナンスの確保の4項目を重点方針として取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、内線部門の首都圏における工事や電力部門の送電線工事が堅調に推移し、受注高は136億10百万円（前年同四半期比26.2%増）、売上高は98億66百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

利益面では、売上総利益の増加により営業利益23百万円（前年同四半期は営業損失83百万円）、受取配当金や受取地家賃の増加により経常利益96百万円（前年同四半期は経常利益31百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

当第1四半期連結累計期間の売上高は63億81百万円（前年同四半期比8.9%増）となり、営業利益は1億82百万円（前年同四半期は、営業利益1億円）となりました。

（東南アジア）

当第1四半期連結累計期間の売上高は25億55百万円（前年同四半期比3.6%増）となり、営業利益は1億19百万円（前年同四半期は、営業損失6百万円）となりました。

（その他アジア）

当第1四半期連結累計期間の売上高は9億31百万円（前年同四半期比80.8%増）となり、営業利益は8百万円（前年同四半期は、営業利益26百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億65百万円減少し、444億75百万円となりました。主な要因は、現金預金9億86百万円の増加に対し、受取手形・完成工事未収入金等及び電子記録債権33億25百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少し、148億61百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等及び電子記録債務18億77百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、296億13百万円となりました。主な要因は、利益剰余金3億81百万円の減少などによるものです。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,000,000	18,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は、100株であります。
計	18,000,000	18,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年5月31日 (注)	2,000,000	18,000,000	-	1,190,250	-	-

(注) 自己株式の消却による減少であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,768,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,202,200	172,022	-
単元未満株式	普通株式 29,100	-	-
発行済株式総数	20,000,000	-	-
総株主の議決権	-	172,022	-

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が92株含まれております。

2 2019年5月31日に自己株式2,000,000株を消却しており、2019年6月30日現在の発行済株式総数は18,000,000株となっております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	2,768,700	-	2,768,700	13.84
計	-	2,768,700	-	2,768,700	13.84

(注) 2019年5月31日に自己株式2,000,000株を消却しており、2019年6月30日現在の自己株式は768,858株(単元未満株式58株を含む)となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,358,365	10,345,254
受取手形・完成工事未収入金等	16,169,680	12,948,589
電子記録債権	906,911	802,068
未成工事支出金	293,029	520,366
その他	979,531	1,070,641
貸倒引当金	54,877	61,883
流動資産合計	27,652,640	25,625,038
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,231,579	4,231,371
その他(純額)	2,760,385	2,769,607
有形固定資産合計	6,991,964	7,000,979
無形固定資産		
のれん	488,858	451,253
その他	801,038	827,014
無形固定資産合計	1,289,896	1,278,268
投資その他の資産		
投資有価証券	4,176,027	4,173,375
投資不動産(純額)	5,235,548	5,220,806
繰延税金資産	529,384	504,467
その他	757,153	763,368
貸倒引当金	91,440	91,110
投資その他の資産合計	10,606,675	10,570,908
固定資産合計	18,888,536	18,850,155
資産合計	46,541,177	44,475,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,350,977	6,970,835
電子記録債務	1,449,721	1,952,453
短期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	474,228	22,721
未成工事受入金	2,133,670	2,758,887
完成工事補償引当金	47,203	18,000
工事損失引当金	50,768	46,555
賞与引当金	352,665	9,508
その他	1,023,511	1,379,138
流動負債合計	14,922,748	13,198,100
固定負債		
長期借入金	496,000	496,000
繰延税金負債	454,033	477,011
役員退職慰労引当金	4,161	4,516
執行役員退職慰労引当金	27,200	29,562
退職給付に係る負債	35,419	32,665
その他	627,142	623,931
固定負債合計	1,643,956	1,663,687
負債合計	16,566,704	14,861,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	506,235
利益剰余金	27,555,549	27,174,534
自己株式	2,077,654	576,932
株主資本合計	28,675,146	28,294,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,151,990	1,138,895
繰延ヘッジ損益	12,563	-
為替換算調整勘定	157,564	206,757
退職給付に係る調整累計額	56,510	51,297
その他の包括利益累計額合計	1,265,608	1,294,356
非支配株主持分	33,717	24,961
純資産合計	29,974,472	29,613,405
負債純資産合計	46,541,177	44,475,193

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,815,932	9,866,057
売上原価	7,862,099	8,765,545
売上総利益	953,833	1,100,512
販売費及び一般管理費	1,037,714	1,077,100
営業利益又は営業損失()	83,881	23,411
営業外収益		
受取利息	1,163	6,172
受取配当金	32,694	50,258
受取地代家賃	112,449	126,163
為替差益	13,314	-
その他	32,017	31,666
営業外収益合計	191,639	214,261
営業外費用		
支払利息	4,939	2,605
不動産賃貸費用	45,205	47,318
為替差損	-	71,265
その他	26,598	20,327
営業外費用合計	76,743	141,517
経常利益	31,014	96,155
特別利益		
固定資産売却益	61,851	-
特別利益合計	61,851	-
特別損失		
固定資産除却損	0	49
特別損失合計	0	49
税金等調整前四半期純利益	92,866	96,106
法人税等	87,790	71,954
四半期純利益	5,075	24,151
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失()	3,291	8,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,783	32,534

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	5,075	24,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,027	13,094
繰延ヘッジ損益	40,015	12,563
為替換算調整勘定	51,210	49,193
退職給付に係る調整額	379	5,213
その他の包括利益合計	452	28,747
四半期包括利益	5,527	52,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,881	53,318
非支配株主に係る四半期包括利益	2,646	419

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	109,611千円	118,514千円
のれんの償却額	37,604 "	37,604 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	482,796	27	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	413,548	24	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月31日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,500,766千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が506,235千円、自己株式が576,932千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,861,817	2,459,424	494,691	8,815,932	-	8,815,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	6,267	20,659	26,927	26,927	-
計	5,861,817	2,465,692	515,351	8,842,860	26,927	8,815,932
セグメント利益又は損失 ()	100,641	6,698	26,805	120,748	204,629	83,881

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 204,629千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,381,598	2,555,578	928,881	9,866,057	-	9,866,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	2,648	2,648	2,648	-
計	6,381,598	2,555,578	931,529	9,868,706	2,648	9,866,057
セグメント利益	182,995	119,266	8,784	311,046	287,635	23,411

(注)1 セグメント利益の調整額 287,635千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	0円10銭	1円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,783	32,534
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	1,783	32,534
普通株式の期中平均株式数(株)	17,881,349	17,231,186

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社サンテック
取締役会 御中

東邦監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小宮 直樹 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 石井 克昌 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。